

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	宇都宮大学オプトバイオシンポジウム2017 (2017年12月13日、宇都宮大学 峰キャンパス 大学会館2階多目的ホール・談話室)
演題名	微細藻類ユーグレナにおけるカロテノイド合成の光制御
発表者	[1] 丹野夕麗※、[1] 加藤翔太、[1] 朝比奈雅志、[1] 高橋宣治、[2] 高市真一、[3] 石川孝博、[1] 篠村知子 [1] 帝京大・理工、[2] 東農大、[3] 島根大
内容	藻類を含めた光合成生物においてカロテノイドは、光捕集と光防御で重要な役割を持っています。我々は、カロテノイド蓄積が光に応答して増減することを明らかにし、報告しました。さらに、カロテノイド合成の波長特異性についても調べた結果を報告しました。 本研究は、大学院生の丹野夕麗君を中心に、東京農大および島根大との共同研究により遂行しました。本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受けました。
関連画像	 